



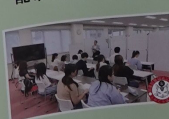
皇學館大学附属図書館 ふみくら倶楽部

点字で展示

私たちふみくら倶楽部は図書館のバリアフリー化を目指し、2019年6月24日（月）から7月18日（木）に「点字で展示」を行いました。施設・設備だけではなく、心のバリアフリー化も目指した展示で、点字に関する本のほか、LGBT・DV・薬物・ユニバーサルデザインフォントに関する本なども選書しました。

■点字で展示の経緯

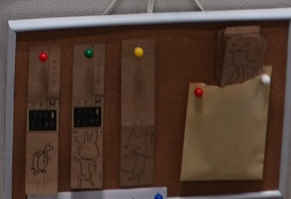
- ①この企画展示のきっかけとなったのは、点字を勉強している部員が「視覚障害のある方にも図書館を身近に感じてほしい」という思いを抱いたことでした。障害者の方も利用しやすい図書館の環境づくりの重要性に、学生たちにも気づいてもらいたいと願って展示をしました。
- ②本の題名を点字に起こすなど、展示をする際に触って楽しめるような工夫も加えました。
- ③三重県自殺対策情報センター（三重県こころの健康センター）が今回の展示にご協力くださいました。心に関する相談施設のご案内のほか、相談受付の連絡先が記された絆創膏をご提供いただき、図書館内のトイレに設置しました。
- ④ユニバーサルデザインフォントを開発している株式会社モリサワにも今回の企画にご協力をいただき、UDフォントの展示とパンフレットの配布を行いました。



■展示の反響

- ①展示期間中に図書館を訪れた多くの学生が、点字やLGBTなどに関心を持ってくれました。
- ②三重県自殺対策情報センター（三重県こころの健康センター）からご提供いただいた絆創膏1,000部は全てなくなり、パンフレットも残り僅かとなりました。
- ③学内の点字に詳しい教員がこの展示に注目し、当初の企画にはなかった点字講座を附属図書館ラーニング commons で開講しました。参加した学生は、点字五十音を90分間で習得しました。
- ④講座は予想以上に好評だったため、秋学期から継続事業として全6回予定で開講しています。

※このポスターの本文にはユニバーサルデザインフォントを用いています。また、用紙の色づかいはグリーンノートを参考にしています。
※ふみくら倶楽部は皇學館大学附属図書館の学生サポーター団体として2016年に設立し、学生協働の取り組みを継続的にを行っています。



しおりやメモ
などに使えます

